

健康横浜21の推進

目的

一人ひとりの健康になろうと思う心を育て、それぞれの価値観に基づいて健康づくりを行い、自らが健康でありたいと思える市民を増やす。

重点的に取り組むテーマ



取組みにあたっての目標

- **目標 1**
市民が健康に関する**正しい知識を身につける**ことができる
- **目標 2**
知識を**行動に活かす**ことができる
- **目標 3**
健康づくりに関心を持つ市民が増える

健康横浜21の推進体制

★健康課題や役割の確認、情報交換

健康横浜21推進会議（年2回） （横浜市地域・職域連携推進協議会）

- (1) 「健康横浜21」の推進にかかる総合調整
- (2) 普及啓発等健康づくり活動の推進支援
- (3) 推進の評価等に関すること



食習慣の改善

構成メンバー

- ・食生活等改善推進員協議会
- ・JA横浜
- ・神奈川県栄養士会
- ・学校関係者
- ・チェーンストア協会
等

運動の定着

構成メンバー

- ・保健活動推進員会
- ・食生活等改善推進員協議会
- ・横浜市体育協会
等

禁煙・分煙の推進

構成メンバー

- ・保健活動推進員会
- ・禁煙、分煙活動を推進する 神奈川会議
- ・横浜市食品衛生協会
- ・学校関係者
- ・薬剤師会、歯科医師会
等

地域・職域連携

構成メンバー

- ・地域産業保健センター
- ・協会健保
- ・国保連
- ・社会保険事務所
- ・労働基準監督署
- ・医師会
等

ワーキング 年2～3回

具体的な取組事業

～平成20年度・21年度～

1 市民意識の把握(20年度)

- 健康に関する市民意識調査
- 民間施設における受動喫煙防止対策調査
- 薬剤師会・歯科医師会の受動喫煙防止対策調査



2 「健康横浜21」重点分野(食・運動・タバコ)を中心とした啓発事業の実施

3 民間企業と連携した大規模健康啓発

- 公共交通機関(大手私鉄1社、市営地下鉄)
- スーパーマーケット(6チェーンストアと実施)

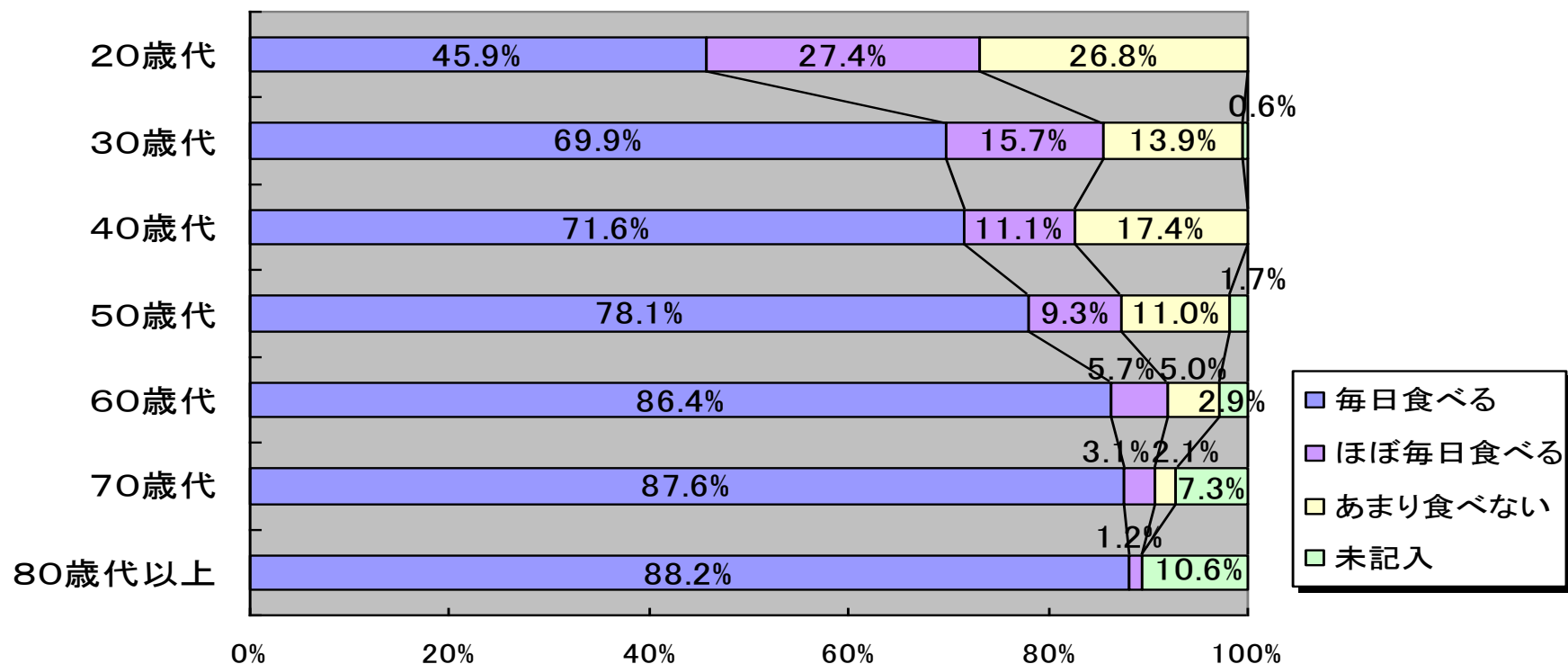
4 地域・職域連携の推進

健康に関する市民意識

朝食の欠食率

特に20代の朝食欠食率が高い

朝食の摂取率(年代別)

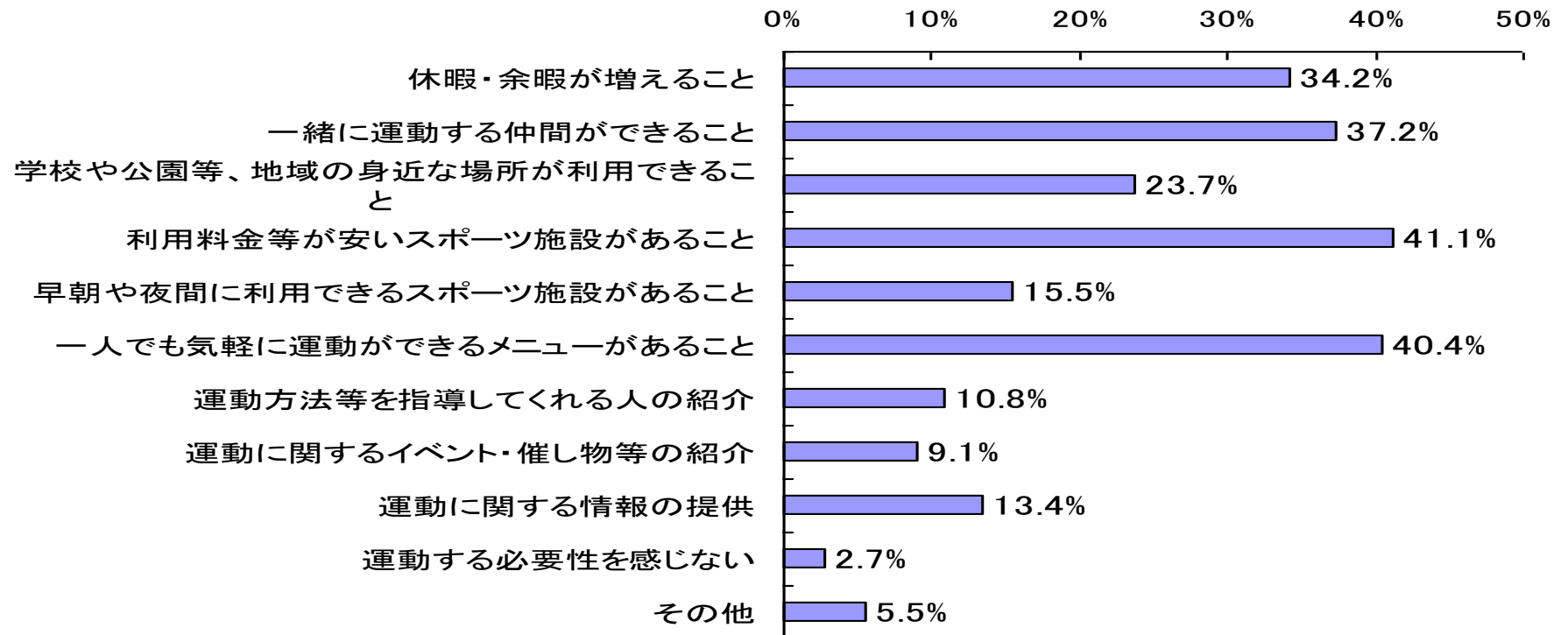


健康に関する市民意識

どのようになれば運動に取り組めるか

「利用料金が安い施設」があり、「一人で気軽に出来る」、逆に「仲間と取り組める」こと、また「余暇・休暇時間が増える」ことが4割～3割を占めた。

どのようになれば運動に取り組めるか



食分野の主な取組

●「スーパーでの啓発」



●保護者に対する健康教育等



●「食習慣の改善」関係団体の連絡会

